

## 出張講義開講科目内容紹介

氏名	鈴木 将人 (すずき まさと)
講義題目	経営学って何だろう
キーワード	企業、経営管理、企業と社会
講義概要	大学のホームページやパンフレットを見ると、さまざまな学問分野があるのがわかると思います。一方で、それらはどんなことを学ぶのかよくわからないと思っている人が少なくないのではないのでしょうか。宮古短期大学部で学ぶ分野の1つに経営学がありますが、高校生・保護者・高校の先生方から「経営学って何ですか?」という質問を受けることがあります。本講義では、経営学がどのような分野であるのかについて、わかりやすく解説します。
対象	高校生
備考	パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイクを使用します。

氏名	松田 淳 (まつだ じゅん)
講義題目	景気はなぜ変動するのか ～景気変動から読み解く日本経済の今後～
キーワード	国内総生産, 経済成長, 景気循環, 経済政策
講義概要	仕事はもちろん, 日常生活を送るうえでも, 「景気」と関わることなく過ごすことは不可能です。では, その「景気」とは何なのでしょう。本講義では, 国内総生産 (GDP) と経済成長をひとつの基準として「景気」という事象を把握し, さらにこれをコントロールする経済政策の必要性を, 理論, 歴史, 現状など, さまざまな角度から学ぶことで, 日本経済の今後について考えます。
対象	高校生
備考	5～7月、10～1月までの月・火・木 プロジェクターとスクリーンを使用します。

氏名	松田 淳 (まつだ じゅん)
講義題目	会社と企業はどう違うのか ～「会社法」をとおして学ぶ企業～
キーワード	会社と企業, 会社法, 株式会社
講義概要	2005年に「会社法」が制定されたことで, 会社という存在が大きく変わりました。本講義では, まず企業と会社の相違を明確にしたうえで, 従来の「商法」が新たに「会社法」という法律に変わったことで, 会社, 特に株式会社の重要性が大きく増したことを念頭に置きつつ, 会社にはどのような形態 (種類) が存在するのか, またどのような経営が行われているのかについて学びます。
対象	高校生
備考	5～7月、10～1月までの月・火・木 プロジェクターとスクリーンを使用します。

氏名	松本 安司 (まつもと やすし)
講義題目	会計の使い方とその変化
キーワード	会計 企業情報
講義概要	会計と聞いて多くの人がイメージするのはお金の計算です。人間が実際に計算することが随分少なくなった現在, 会計を学ぶ意味が薄らいでいるように思うかもしれません。しかし実際は逆で, 人間の計算能力があまり問われなくなってきた時代になってから, 会計知識は重要だ, 会計は学んでおくべき, などの意見をよく見るようになりました。その理由の一つには, 会計が企業の将来を予測するために役立つことが広く知られるようになり, 会計情報の理解力や分析力が重視されるようになってきたことがあると思います。 この講義では, 会計情報の使い道をいくつか紹介し, 特に近年著しく変化している投資意思決定 (株式投資など) 情報としての会計の役割についてお話ししたいと思います。
対象	
備考	


氏名	岩田 智(いわた さとし)
講義題目	産業立地論の考え方
キーワード	輸送費、労働費、集積の利益
講義概要	経済学では、場所と問わず、需要と供給量によって、その財の価格と生産量は決まると考えます。しかし、皆さんは、同じ財（商品）であっても、場所によって異なる価格で販売されているという経験をしたことがあると思います。財の需要と供給には、空間的な制約があるため、生産や販売をどこで行うかにより、売上や費用は変化します。当然、場所によっても利益は変化します。産業立地論は、どこで生産や販売を行えば利益が最大化するのかを考えます。
対象	中学生以上
備考	

氏名	雲然 祥子(くもしかり さちこ)
講義題目	「東北」の経済と開発の歩みを考える
キーワード	国民経済、日本経済、地域経済、東北経済、「東北」、サプライチェーン、製造業
講義概要	私たちが住んでいるこの「東北」は、これまでにどのような歩みをたどってきたのでしょうか。この講義では「『東北』の経済と開発の歩みを考える」をテーマにして、私たちの身近な地域であるこの「東北」について考えてみます。特に、現代における日本経済の歩みの中で「東北」はどのような位置づけにあるのか、「東北」に対してはどのような政策が展開されたのか、それによって「東北」がどのような役割を担うようになったのか、などについて、様々な史資料を使用しながら考察します。 それによって「東北」の過去を学び、現在（いま）を知り、未来を考えるための手がかりにしたいと思います。
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境（特にプロジェクターとスクリーン）が必要となります。 講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。

氏名	雲然 祥子(くもしかり さちこ)
講義題目	「東北」の工業開発の歩みを考えるー主に岩手県の地域を事例にしてー
キーワードB	日本経済、地域経済、東北経済、工業開発、工業振興、岩手県、「東北」
講義概要	私たちが住むこの「東北」は、日本の高度経済成長期以降、製造業を中心とする工業集積が進んだ地域の一つです。特に1970年代以降、太平洋側を中心にそれが顕著に見られ、今日においてもなお、日本経済を支える重要な工業地域としての役割を担っています。 この講義では、主に岩手県内の地域を事例にして、「東北」の工業開発の歩みを考えてみます。現代日本において「東北」はいつから工業開発に着手し始めたのか、どのようなかたちで工業誘致・工業振興を進めたのか、それらによって「東北」にはどのようなことが起こったのか、そして「東北」が、日本全体の中でどのような役割を担うようになったのか、などについて、様々な史資料を使用しながら考察します。
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境（特にプロジェクターとスクリーン）が必要となります。 講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。 また、講義内容のうち、事例として取り上げる地域については、青森県・宮城県・福島県も取り上げることも可能です。ご希望の地域がありましたら、こちらも事前にご相談ください。

氏名	雲然 祥子 (くもしかり さちこ)
講義題目	郷土・東北の先人たちから学ぶこと
キーワード	東北地方、知識人、近代日本、現代日本、大正デモクラシー、キリスト教、平和思想、憲法
講義概要	私たちの住む「東北」はこれまで、数多くの偉大な先人たちを数多く輩出してきました。彼らの中には、今日の教科書に載るくらい、日本の歴史の中で燦然と輝くような功績を残した人もいれば、大きな功績があるにも関わらず、歴史の中にひっそりと“隠れている”人もいます。 この講義では、郷土の先人たちの中から何人かの人物（新渡戸稲造、吉野作造、鈴木義男など）をピックアップし、彼らの共通点について探ります。また、その中から一人をピックアップし、残された史資料を手がかりに、その人物の生涯をたどる中で見えてくるものが何か、それが今日の私たちに何を伝えようとしているのかを考えてみたいと思います。
対象	中学生または高校生以上、および学生・保護者・教職員・一般の方 (中学生以上であれば、年齢・業種など問わず、どなたでも受講可能です)
備考	パワーポイントを使用するため、パソコンを使用できる環境（特にプロジェクターとスクリーン）が必要となります。また、場合によっては映像を投影しますので、音響が必要になることもあります。 講義時間につきましては、要望に合わせて設定いたしますので、事前にご相談ください。

氏名	昇高 茂樹 (しょうたか しげき)
題目	情報システムの仕組み
キーワード	コンピュータ、情報システム
講義概要	現代社会では、コンピュータやネットワークの普及により多くの情報システムが構築されています。この講義では、インターネット通信販売などを通して情報システムの仕組みを学びます。
対象	中学生・高校生
備考	プロジェクタとスクリーンを使用します。

氏名	平田 哲兵 (ひらた てっぺい)
講義題目	ドローン操縦体験・ドローンによる測量体験
キーワード	ドローン、測量
講義概要	近年、様々な分野で活用されているドローン（無人航空機）について講義をおこなうとともに、ドローンの操縦体験をおこないます。講義では、様々な活用されているドローンの紹介、ドローン操縦士に必要な資格やルールなどを取り上げます。またドローンを用いた写真測量の実習やドローン空撮画像から3Dモデルを作成するなどの実習を行うことも可能です。
対象	高校生
備考	ドローン操縦体験を実施する際は上限人数に限りがあるほか、体育館の使用等諸条件が御座いますので事前にご相談をお願い致します。講義・実習の詳細や実施の条件などについては研究室ホームページをご覧ください。 

氏名	大志田 憲 (おおしだ けん)
講義題目	コンピュータグラフィックスプログラミング入門
キーワード	コンピュータグラフィックス、プログラミング、画像処理
講義概要	コンピュータで扱う画像の色の仕組みから、簡単な図形作成、画像処理（写真加工）まで、サンプルプログラムを使いながら学習します。Processing（プロセッシング）というプログラミングツールを使います。Processingはビジュアルデザインのためのプログラミング言語で、プログラミング初心者でも簡単にグラフィック表示を行うことができます。
対象	高校生
備考	プロジェクタおよびパソコン環境が必要となります。 会場については、本学のコンピュータ室、あるいは高校のコンピュータ室等での講義も可能な場合もありますので、事前にご相談いただければと思います。

氏名	大志田 憲(おおしだ けん)
講義題目	AIについて考えてみよう
キーワード	AI、コンピュータ
講義概要	最近、AIという言葉が世の中に広まっています。AIでどんなことができるのだろうか？生活や企業活動の中でどのように使うことができるのだろうか？そもそもAIとはなんだろうかといったことについて、身近な例などを使いながら基本的なことを学んでいきたいと思ひます。
対象	高校生
備考	プロジェクタを使用します。

氏名	昇高 茂樹(しょうたか しげき)
題目	Micro:bitを用いたプログラミング演習
キーワード	プログラミング
講義概要	コンピュータの普及により色々な作業がコンピュータによって行われています。コンピュータに作業させるためには命令を記述するプログラミングが必要となります。 この講義ではMicro:bitと呼ばれる小さなコンピュータを使用して簡単なプログラミングを行いプログラミングに興味を持ってもらひ、身近に感じてもらうことを目的としています。
対象	小学生・中学生・高校生
備考	Micro:bitは大学で用意しますが、演習を行うために1人1台のPCが必要になります。また講師用にパソコンとプロジェクタ、スクリーンを使用します。 宮古短期大学部の施設を利用した演習も可能です。

氏名	大前 義幸(おおまえ あきゆき)「文学」
題目	小説の面白い読み方
キーワード	文学、読解力、英文法
講義概要	近年、映像や文章から情報を読み取る必要性が高まっております。しかし、一方では、本や映像から情報を読み取ることが苦手な人も増えています。情報化社会の昨今においては、多くの情報を正確に読み取ることのできる力が求められています。つまり、多くの物から情報を読み取ることができれば、人生を豊かにすることができ、尚且つ、自身の教養や知恵を身に付けることにも繋がります。本講義では、多くの小説から文章を読み取る授業を行い、読解力を向上させ、日常生活に溢れている多くの情報を正確に読み取ることができるよう指導を行います。
対象	特になし
備考	パソコンとプロジェクター、スクリーンを使用します。

氏名	田中 宣廣(たなか のぶひろ)「日本語学」 ＝日本語音声学、地域言語学、社会言語学、日本語史学
講義題目	岩手県沿岸部の方言から学ぶ自然な地域語の観方(みかた)
キーワード	生活語、日本語、地域言語、沿岸部の方言、地域文化、アクセント
講義概要	この講座の目的は、日本語と地域言語の正しい観方(みかた)について考えることです。その材料に、私たちの住む岩手県沿岸部の方言を使ひます。普段私たちが友達との会話や生活に使う日本語こそ、私たちの思考や感情を100%表現しきれぬ唯一の表現体系です。これら自然言語について小学校から高校まで学ぶ機会が少ないのですが、その正確な認識は、「国語」の成績向上や豊かな言語生活そして正しいコミュニケーションに必要です。また、本講座の材料の岩手県沿岸部の方言には、日本語の中でも珍しい現象があります。ぜひこの機会に一つでも二つでも理解し、地域文化に対する愛着心を抱いていただきたひと思ひます。 【予定内容】1『岩手県沿岸部の方言』の位置と概要／2「岩手県沿岸部方言」の特徴／3岩手県内外の他地域との異同内容／4地域言語の将来
対象	中学生、高校生、学校教職員、及び、講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は、受講者に合わせて調整します～
備考	【必要設備】 パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影＋音声発出装置をご用意ください。 パソコンは、講師が持参しますので、それ以外の投影＋音声装置をご用意いただきます。 なお、C講義においては、これに加え、DVDによる動画上映装置を必要とします。

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目	ことばの声を目で見える工夫
キーワード	言語音声, 調音器官, 音声記号, 音声波形, ピッチグラム, サウンドスペクトログラム
講義概要	考察課題は「言語音声の可視化」です。言語音声(ことばの声)はそのままでは見えませんね。そのなか言語学の研究では, 言語音声を可視化＝見えるように種々工夫しています。可視化する理由は, 可視化すると, 言語音声のしくみが(見えないままではわからないことも)よくわかるからです。この講義では, 下記「予定内容」の4段階で言語音声可視化の概要を理解します。 【予定内容】1_言語音声の生成機構/2_言語音声の可視化方式/3_可視化により理解できる音声性質/4_代表の人(数人)が言語音声を発音して実際の音声を可視化
対象	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考	【必要設備】 パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます。 なお, C講義においては, これに加え, DVDによる動画上映装置を必要とします。

氏名	田中 宣廣 (たなか のぶひろ) 「日本語学」 ＝日本語音声学, 地域言語学, 社会言語学, 日本語史学
講義題目	「狂言」資料からわかる現代日本語の成り立ち
キーワード	能楽, 狂言, 近代語, 現代語, 方言, 活用型, 変遷
講義概要	「狂言」は, 南北朝～室町時代に成立発展し, 江戸時代を通じて台本が整理され, 現代に伝わる日本芸能を代表する, “喜劇性”や“日常性”が特徴の演劇です。「能」と共用の「能舞台」で演じられ, 「能」といわば『兄弟』のように発展してきました。「狂言」に使われているのは江戸時代の日常のことばなので, 狂言台本の日本語を調べますと現代日本語の形成過程がよく分かります。台本や動画から語彙・語法・音韻等の言語現象について適宜解説を加えつつ考察していきます。また, 伝統芸能も「易しい」「楽しい」「親しみやすい」ものであることを理解しましょう。 【予定内容】1_日本語の歴史の区分/2_狂言台本の日本語/3_語法の変遷/4_語彙の変遷/5_狂言の構成/6_能舞台と舞台上の人々の役割/7_能楽の流儀/8_狂言鑑賞入門
対象	中学生, 高校生, 学校教職員, 及び, 講義内容にご興味をお持ちの一般の方。 ～講座の内容や構成は, 受講者に合わせて調整します～
備考	【必要設備】 パソコンからHDMI接続による大画面の映像投影+音声発出装置をご用意ください。 パソコンは, 講師が持参しますので, それ以外の投影+音声装置をご用意いただきます。 なお, C講義においては, これに加え, DVDによる動画上映装置を必要とします。

氏名	河野 暁子(こうの あきこ) *臨床心理士
講義題目	相手も自分も大切に作るコミュニケーション
キーワード	心理学, アサーション, 言語的コミュニケーション, 非言語的コミュニケーション
講義概要	「こんなことを言ったら, 相手はどう思うだろう…」と相手の反応を気にして, 言いたいことが言えない人がいます。その一方で, 相手の話を聴かず, 自分の意見ばかりを主張する人もいます。どちらも, コミュニケーションとしては上手だとは言えません。心理学でいう「アサーション」は, 相手も自分も大切に作るコミュニケーションのことです。本講義では, 日常生活ですぐに役立つコミュニケーション・スキルを学ぶことができます。
対象	高校生以上
備考	講師用にパソコン, プロジェクター, スクリーンを使用します。講義内容は受講生に合わせて調整できますので, ご相談ください。

氏名	河野 暁子(こうの あきこ) *臨床心理士
講義題目	こころが疲れたときの対処法
キーワード	臨床心理学、ストレス、考え方のくせ
講義概要	私たちは、暮らしの中でさまざまなストレスを経験します。時には、ストレスが重なりこころが疲れてしまうこともあります。本講義では、ストレスとこころの健康について、分かりやすく解説していきます。実際にワークを体験しながら、自分なりのストレス対処法を見つけていくことができます。
対象	高校生以上
備考	講師用にパソコン、プロジェクター、スクリーンを使用します。講義内容は受講生に合わせて調整できますので、ご相談ください。

氏名	谷藤 真琴 (たにふじ まこと)
講義題目	課題研究のまとめ方
キーワード	問題の発見、情報収集、まとめ方、発表の仕方
講義概要	問題の発見の仕方、テーマ設定の方法、問題を解決するための(フィールドワークを含め)た)情報収集の方法、収集した情報のまとめ方、発表の仕方等課題研究に関する作法やコツについて話します。
対象	中学生以上(教職員を含む)
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。また講義の内容等は受講生に合わせて調整しますので、ご相談ください。

氏名	谷藤 真琴(たにふじ まこと)
講義題目	経営から考えるまちづくり
キーワード	地域(まち)おこし、コミュニティ形成、アントレプレナーシップ
講義概要	まちづくりには、コミュニティの役割が欠かせません。ではそのようなコミュニティはどのように形成され、活用されるべきでしょうか。これらに必要な知識を経営の観点から話します。また将来地域を担っていく人材に何が必要なのか、皆さんと一緒に考えます。
対象	中学生以上(教職員を含む)
備考	プロジェクターとスクリーンを使用します。